

成人おめでとう

明日へはばたけ若者たち

昭和五十五年の新しい年が明けました。一九八〇年代最初のステップ——新しい時代に向けての「船出」です。

二十才になったみなさんも、今年は一入前の大人として、一人の社会人としての「船出」の年です。

青年は、だれもが無限の可能性を秘め、それに挑む勇氣を持っていて。新しい時代を担う活力として、着実にたくましく育ってほしい——成人式にはそうした社会の期待がこめられているのです。

そうした期待に、成人された皆さんはどう応えていくか、新しい「船出」にあたって考えてみたいものです。

光町成人式典は、次のとおり行われます。

期 日 一月十五日（火）
場 所 町体育館
時 間 受付 午前九時三〇分
式典 午前十時

できるだけ簡素な
服装で出席
しましょう

二十才のころ、そうねえ、そのころのぼくは海が大好きだった。

今でも好きだけど、あのころは暇さえあれば海を見ていたような気がするな。東京



海を見ていた「二十才」

渥美 清

(俳優)

の焼け残った下町に住んでいた。ぼくは電車に乗って横浜までよく出かけたものだ。

長い長い堤防に一人腰をおろして……足をぶらぶらさせるたびに、ちびたゲタが固

は、夢を追い続けているからなんだ。一生懸命に、いや本当に一生懸命に生きようと、寅次郎は寅次郎なりに努力している。いつかは、まっとうな生き方

はたちのみなさん

国民年金に加入しよう

二十才のみなさん、成人おめでとう。きょうから、晴れておとなの仲間入り——あなたはいま一人の社会人として新しいスタートを切ったのです。

選挙権を行使できるほか、財産上の取引も自分の意志でできるなど法律上、一人前のおとなとしての扱いを受けると同時に、国民年金にも加入できるようになります。

二十才の男になりたいと、きょうも寅さんは自分の可能性に挑んでいる。

成人されたみなさん、おこがましいことは言えないが、夢を忘れず、一生懸命に生きる努力をいつまでも続けてほしい……。

ぼくは、そう願っています。

いま成人式を迎えたばかりのあなたにとって、老後の生活？年金などといってもピンとこないと思われるかもしれませんが人間だれしも年をとります。老後の生活設計は若いうちから考えておくのが賢明です。そのためにも、二十才になったのを機会に国民年金に加入しましょう。自営業や自由業の人あるいは家事手伝いの人などは、必ず国民年金に加入しなければなりません。昼間部の学生や他の公的年金制度に加入しているサラリーマンなどの奥さんは、希望すれば加入できます。なお、厚生年金制度など職場で加入する他の公的年金に入っている人は、国民年金には加入できません。国民年金で老後をより豊かなものに——保険料は一月三千三百円（四月から三千七百七十円）です。